

第41回 北宋の滅亡と南宋の成立

1 王安石の改革

・遼と西夏へ贈る銀と絹、増大する役人、国境を守るために雇われた傭兵などのため、宋は深刻な財政難となっていた。

◆ () (在位 1067~1085 年)

- ・ () を宰相に起用し、財政再建と富国強兵を進めようとした。
- 王安石は、() と呼ばれる改革を行ったため、これを王安石の改革という。



神宗

19歳で即位した若き皇帝。王安石を登用して改革を進めるが、旧法党の反発によって結局解任されたため、改革は挫折していった。



王安石

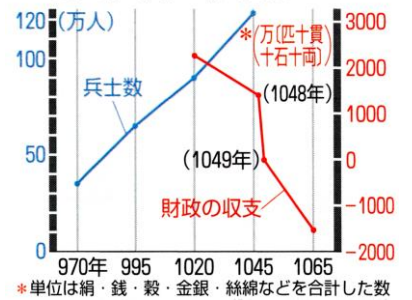
VS.



司馬光

王安石は唐宋八大家のひとりであり、文章家としても有名である。一方の司馬光は歴史家として有名。両者は天敵同士だが、実力を認めあってもいい。

財政支出の赤字化



<王安石の新法>

- () … 貧しい農民に、低金利でお金や穀物を貸した。
- () … 政府が各地で特産物を買ひ、不足している場所で売った。
- () … 中小商人に、低金利でお金を貸した。
- () … 労役免除の代わりにお金を払わせ、そのお金で希望者を雇った。
※労役の負担を軽減し没落を防ぐため。
- () … 農耕が暇な時に、農民に軍事訓練を行わせた。
※軍隊の強化と軍事費の節約のため。
- () … 政府の馬を、平和な時は農耕に使わせ戦時には軍馬とした。
- 方田均税法 … 土地に等級をつけて、それに応じて税金を課した。

- ・しかし王安石の改革は、地主や大商人の利益をおさえるものであった。
- ・また国家が商人のように経済活動をする事は、儒学者などからも批判があった。
- () と () の対立が起こり、政治は混乱していった。

2 金の成立

・北方では、新たにツングース系の () が力をつけていた。
→1115年、女真(女直)の一部族である完顔部が、金を建国した。

☆ ()

都…燕京(中都) ※現在の北京

◆ () (太祖) (在位 1115~1123 年)

- ・1115年、完顔部の首長で、女真族を統一して金を建国した。



完顔阿骨打

<金の政治と社会>

- 金は、() という独特の軍事行政制度を行った。
→ 支配下の漢民族には宋の州県制を用いて、二重統治体制をとっていた。
- 契丹文字と漢字をもとにした() を用いた。
- 禅宗の影響を受けた道教の一派である() が、王重陽によって創始された。



女真文字 完顔阿骨打の命で契丹文字と漢字とをもとにして作られた。



徽宗
文化人としては超一流だが、皇帝としては三流である。

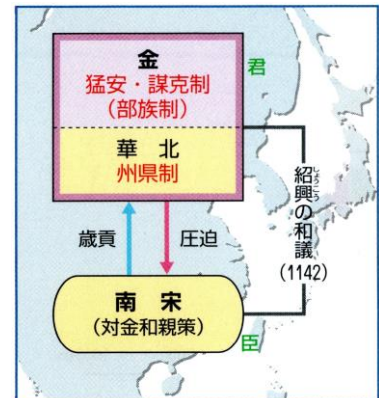
3 北宋の崩壊と南宋の成立

- ◆ () (在位 1100~1125 年)
- 1120 年、宋は金とともに遼へ侵攻し、1125 年、金が遼を滅ぼした。
→ 遼の王族である() は、中央アジアに逃れてカラハン朝を倒し() を建国した。



欽宗
30 年も捕虜のまま、ついに帰れなかった。

- ◆ () (在位 1125~1127 年)
- 1127 年、宋が約束を守らなかったため、金は宋に侵入して開封を占領し、皇帝の欽宗と上皇の徽宗を捕えて宋を滅ぼした(北宋の滅亡)。
※この事件を() という。



☆ () (1127~1279 年)
都... () ※現在の()

- ◆ () (在位 1127~1162 年)
- 靖康の変の際、偶然開封にいなかった欽宗の弟が、江南に逃れて南宋を建国した。

<主戦派と和平派の対立>

- 南宋では、将軍の() を中心とする主戦派と、宰相の() を中心とする和平派が対立していた。
→ 秦檜は、岳飛を無実の罪を着せて謀殺し、主戦派を押さえ込んだ。
→ 1142 年、両国は() を境に紹興の和議を結び、和平がもたらされた。



岳飛
悲劇のヒーローであり、現在でも英雄的な人気がある。杭州にある岳飛の墓には、現在も参拝者が絶えない。私も行きました。

VS.



秦檜
一方で、南宋に和平をもたらした秦檜は、売国奴とされている。岳飛の墓の前には、縛られてひざまずく秦檜の像が置かれている。

